

“冬の交流学习会2026” の おさそい

夏の全国研究大会（2026/8/3・4）へと制度研活動をつなぐ「冬の交流学习会」を来年2月7日（土）にオンラインで開催します。みなさんの参加をお待ちしています。今回は、無償教育の視点から“就学援助費のいま”を各地の方々と交流する中で、今日的な課題はどこにあるのか、学校現場だからこそ担うべき役割・責任はなんなのかについて考えてみたいと思います。

横浜市では来年度の就学援助基準を今年6月の最高裁判決「生活保護基準引下げ改定違法」をうけ、「保護基準減額前の平成25年4月生活保護基準を元に改める」としました。名古屋市では就学援助費を「未来まなび応援金」と命名し、「中間所得層」まで対象を拡大する認定基準額引き上げをしています。また教材費無償化を実施している豊中市、山梨市などでは、就学援助費（学用品費）給付が停止されています。「オンライン申請」も少しずつ広がりを見せているようです。



子どもの学びと育ちを保障するセーフティーネット＝就学援助制度の今を追ってみましょう。さまざまな様相を見せ始めているあなたの周囲の動向を教えてください（制度研 e-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp まで）。当日の話題に盛り込みたいと思います。

オンライン「冬の交流学习会2026」

テーマ “就学援助費のいま” を教えて！
～ 就学援助制度と無償教育を考える ～

・開催日時 2026年2月7日（土）14時～17時

・参加申込 1月23日まで

・参加費 無料

※12月中旬頃より、「制度研ホームページ」からの受付開始を予定しています